

自宅から計算機センターのメールを読むには

2020年4月
計算機センター

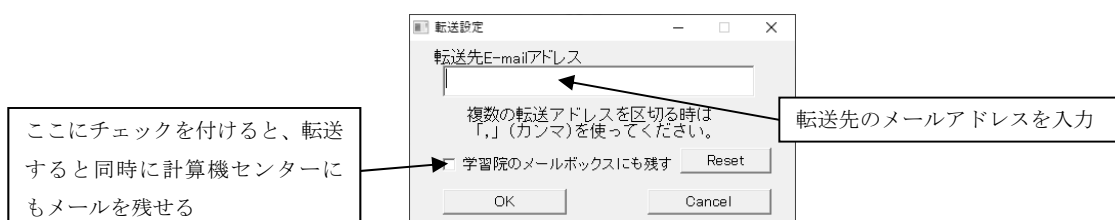
自宅から計算機センターに届いているメールを読むには次の方法があります。

- ① 計算機センター宛に送られてきたメールを、自宅で加入しているプロバイダのメールアドレスに転送することができます。携帯電話にも転送できます。
- ② 自宅でインターネットが利用できる場合は、普段使っているメールソフトで、計算機センターに届いているメールを読むことができます。

① メールの転送設定

計算機センターの登録されているアドレスに送られてきたメールを、他のアドレスに転送するように設定することができます。設定は計算機センターの実習室で行います。

1. 「スタート」-「ユーティリティ」-「メール転送設定」を選択します。
2. 転送先のメールアドレスを入力します。



② メールソフトの利用

メールソフトで計算機センターに届いているメールを読むことができます。設定値は以下の通りです。

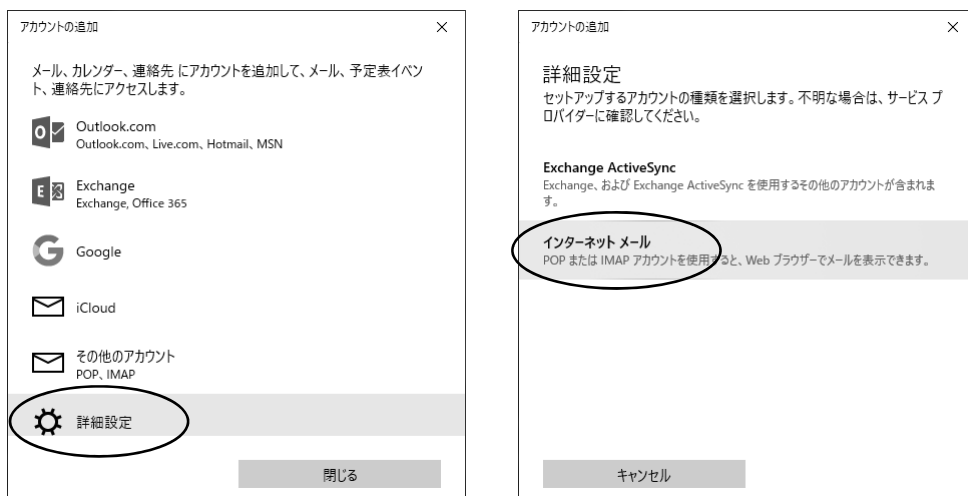
受信サーバの種類	POP3	
受信(pop)サーバ	pops-cc.gakushuin.ac.jp	
受信(pop)サーバのポート	995	
受信(pop)サーバのSSL接続	必要	
送信(smtp)サーバ	原則として加入しているプロバイダのサーバを使用してください。利用できない場合は右の設定をしてください。	smtpps-cc.gakushuin.ac.jp
送信(smtp)サーバのポート		465
送信(smtp)サーバのSSL接続		必要

注意事項

- ・送信(SMTP)サーバは、原則として、加入しているプロバイダのサーバを使用してください。ただし、プロバイダの送信(SMTP)サーバが利用できない場合は、上記のサーバを設定してください。
- ・一般的には、メールソフトを起動するとすべての受信メールをパソコンのハードディスクに持ってきて、サーバにあったものは削除します。自宅で見つめたメールを再度学校で見ることができません。学校で見つめたメールを再度自宅で見つめることもできません。自宅と学校の両方でメールを見る人は注意してください。これを解決するには、メールソフトによってはサーバ上のものを削除しないようにすることもできます。しかし、この設定にするとサーバに格納されるメールが大きくなるので、計算機センターの機器を圧迫するばかりでなく、回線速度の遅い環境でメールソフトを起動することができなくなることがあります。原則として、サーバ上のメールは削除し、必要に応じてUSBメモリなどに保存するようにしてください。

設定例 (Windows10 標準の「メール」の場合)

「アカウントの追加」から「詳細設定」 - 「インターネットメール」を選択します。



各項目を次のように設定します。

